

平成29年(2017年)12月期 第2四半期決算説明会

オエノンホールディングス株式会社

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。

平成29年8月25日

代表取締役社長 西永裕司

(コード：2533)

- 1. 平成29年度 第2四半期連結決算概要**
- 2. 平成29年度 重点方針**
- 3. 平成29年度 通期業績見通し**

1. 平成29年度 第2四半期連結決算概要

市場・業界

- ・人口減少・少子高齢化、米国経済の不確実性、不安定な円相場など景気下振れリスク
- ・6月施行の改正酒税法による消費への影響

◎ カテゴリー状況

【RTD（チューハイ・カクテル）】

節約志向：アル分8～9%の「**ストロング系**」が伸張

嗜好の変化：食事との相性がよい「**ドライテイスト**」が浸透

1-6月実績

(百万円、%)

	28年	29年	増減	前期比
売上高	38,511	37,662	△848	97
営業利益	918	807	△111	87
経常利益	755	828	72	109
親会社株主に帰属 する四半期純利益	504	541	37	107

1-6月実績

28年営業利益	9億円
29年営業利益	8億円

酒類事業

△ 3億円

2億円

酵素医薬品事業

減益の合計

△ 3億円

増益の合計

+ 2億円

△ 1億円

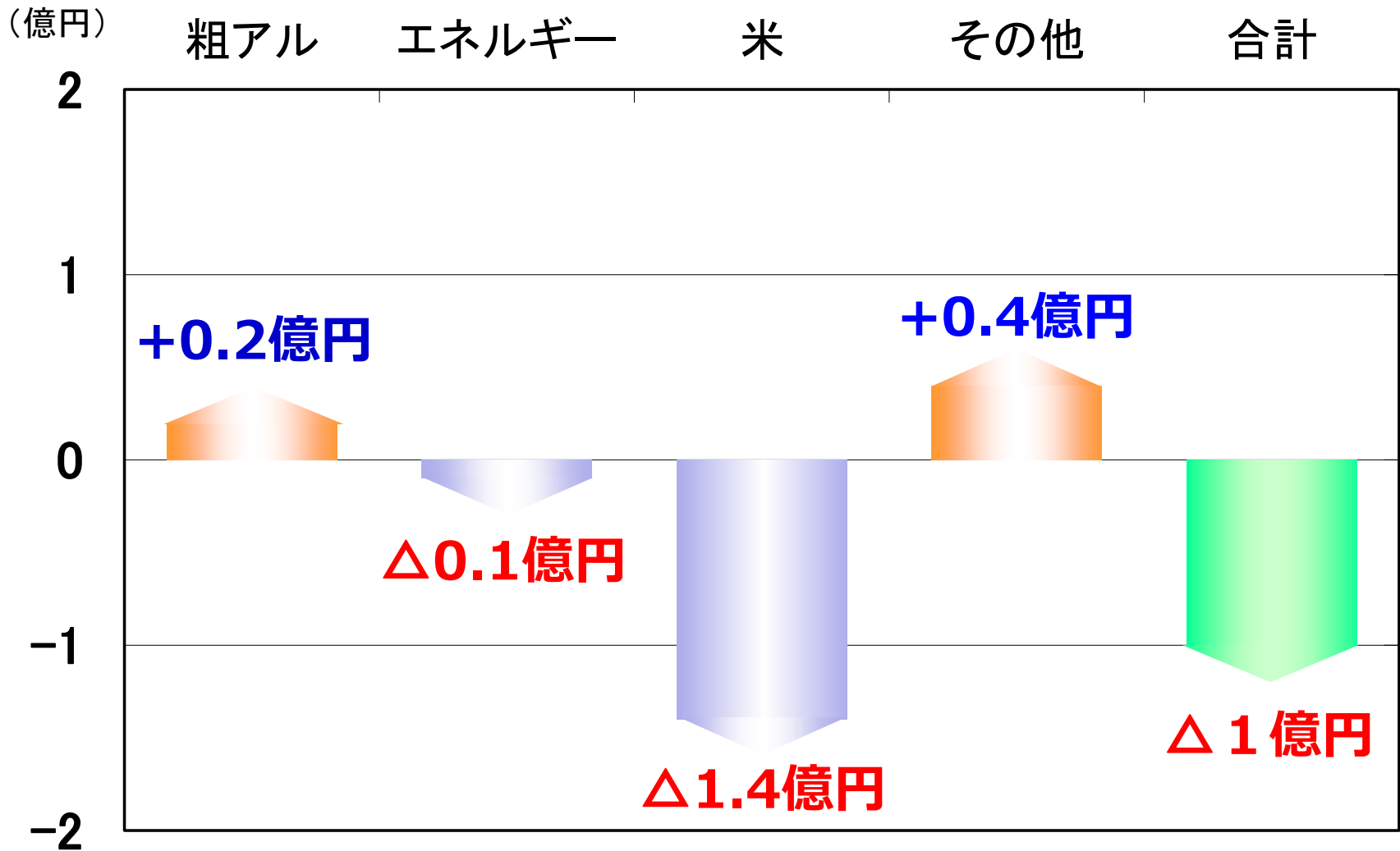
1-6月実績

酒類事業の減益要因 $\Delta 3$ 億円

原材料コストの上昇等 $\Delta 1$ 億円

売上高減少 $\Delta 2$ 億円

利益増減

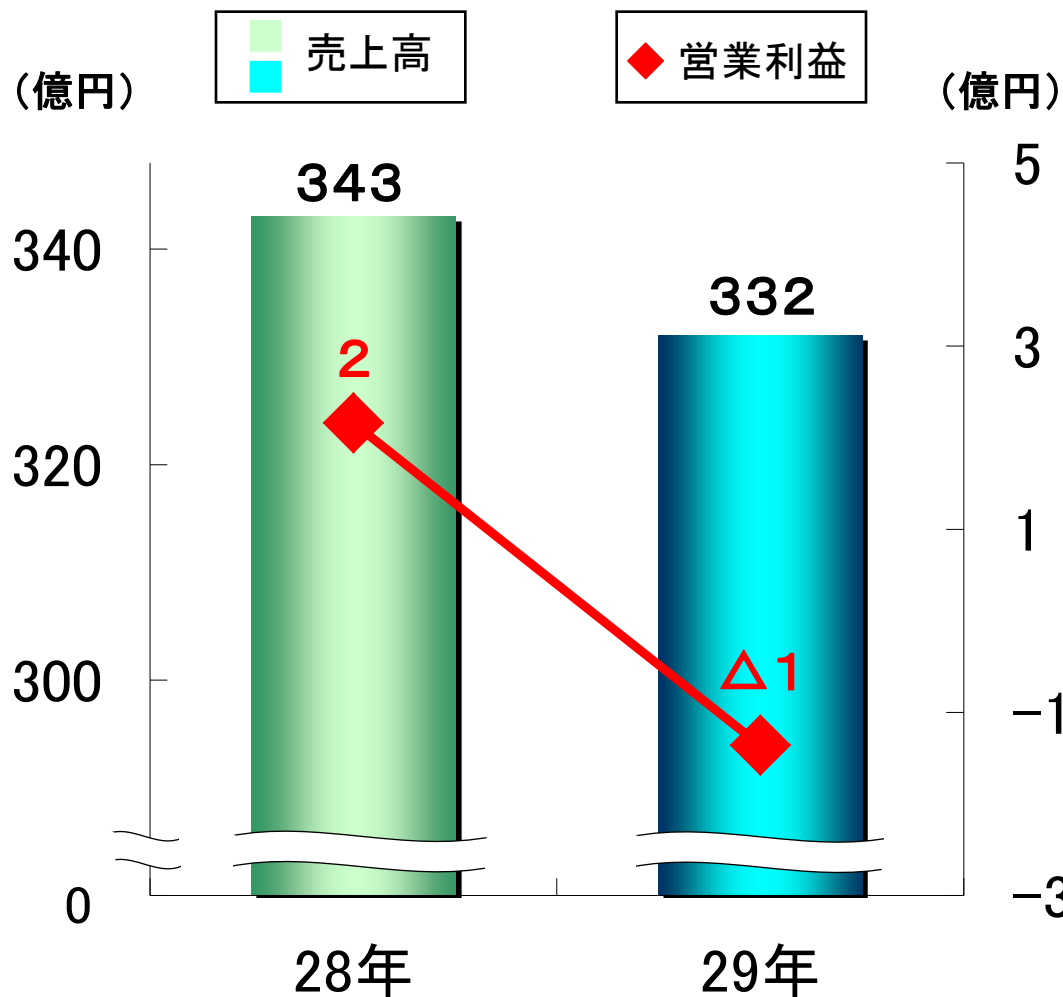


1-6月実績

(億円)

マイナス要因		プラス要因	
輸出 (酵素・酒類)	△ 0	粗留アルコール	+ 2
		コーン	+ 0
		ワイン	+ 0
計	△ 0	計	+ 2

2億円のプラス

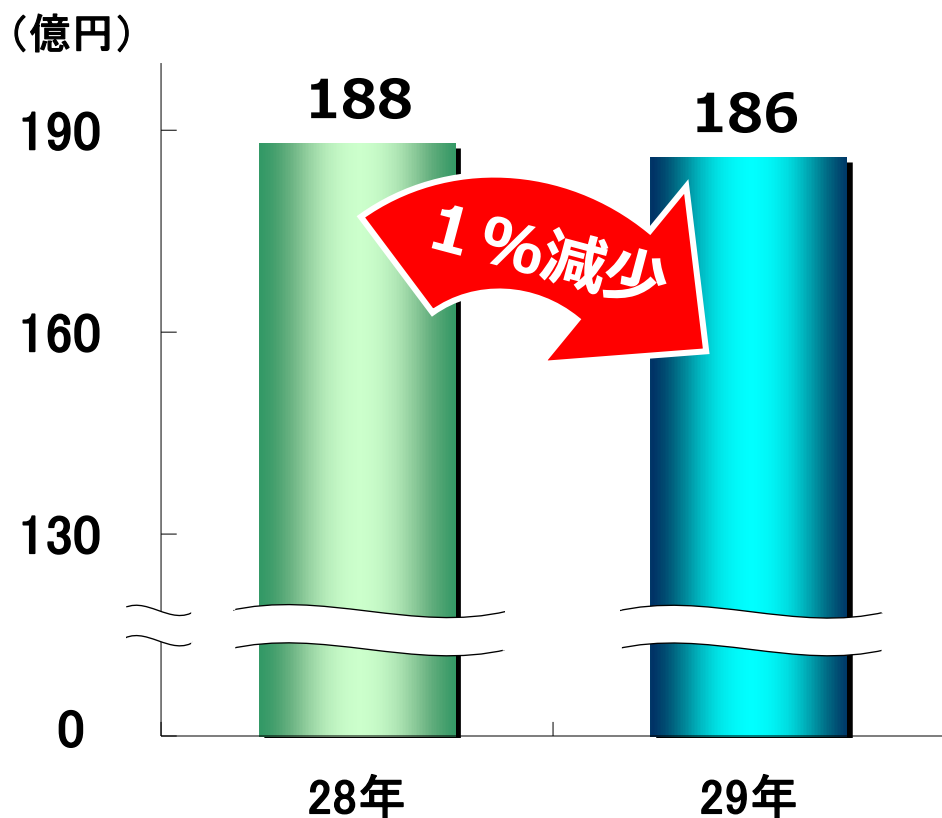


**改正酒税法の影響
販売競争の激化**

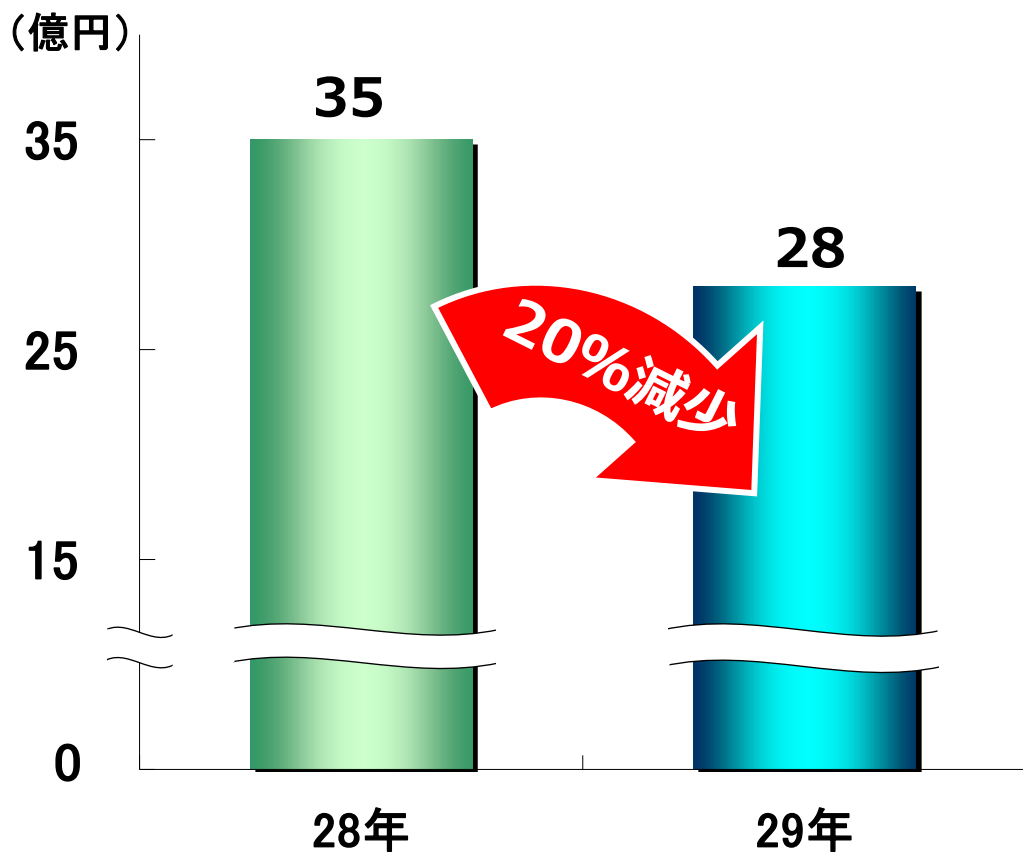
**売上高減少・
原材料価格高騰**

3 億円減益





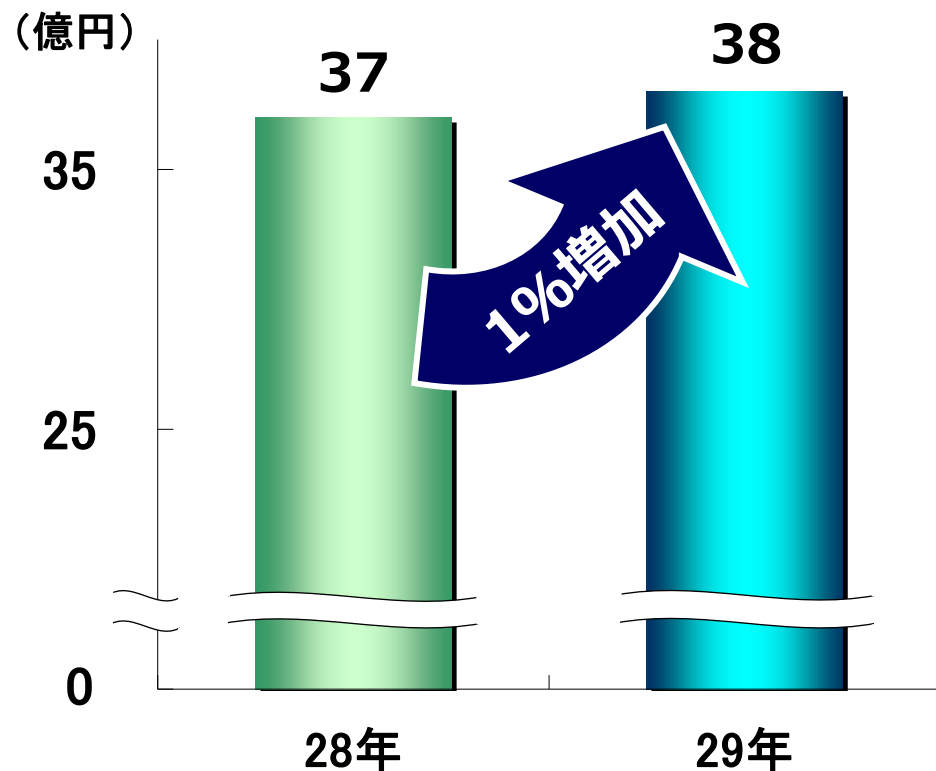
「博多の華」、「すごむぎ・すごいも」増加
「北海道ビッグマン」は堅調に推移
(LB戦略・プロモーション活動強化)



チューハイの
PB比率：86%

PBチューハイの減少

酒類用アルコール 売上増



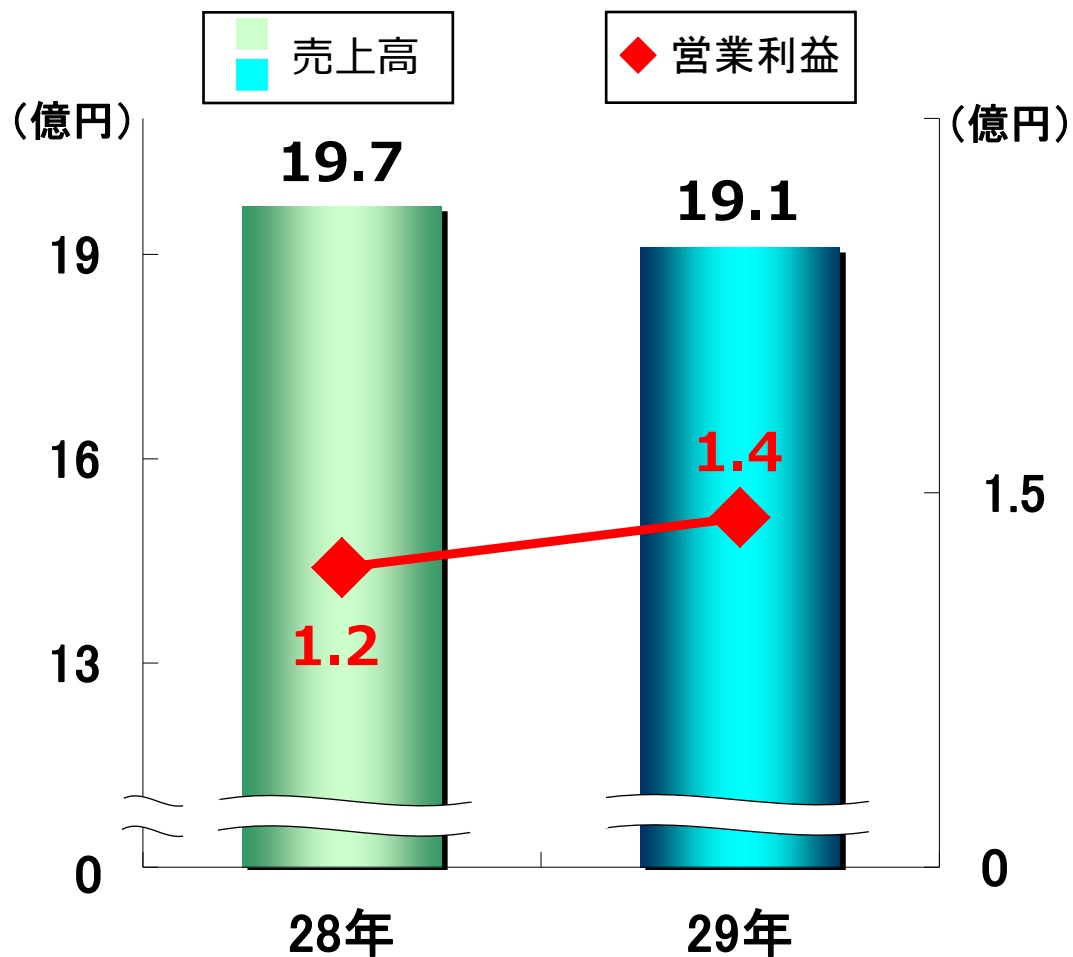
-主な用途-



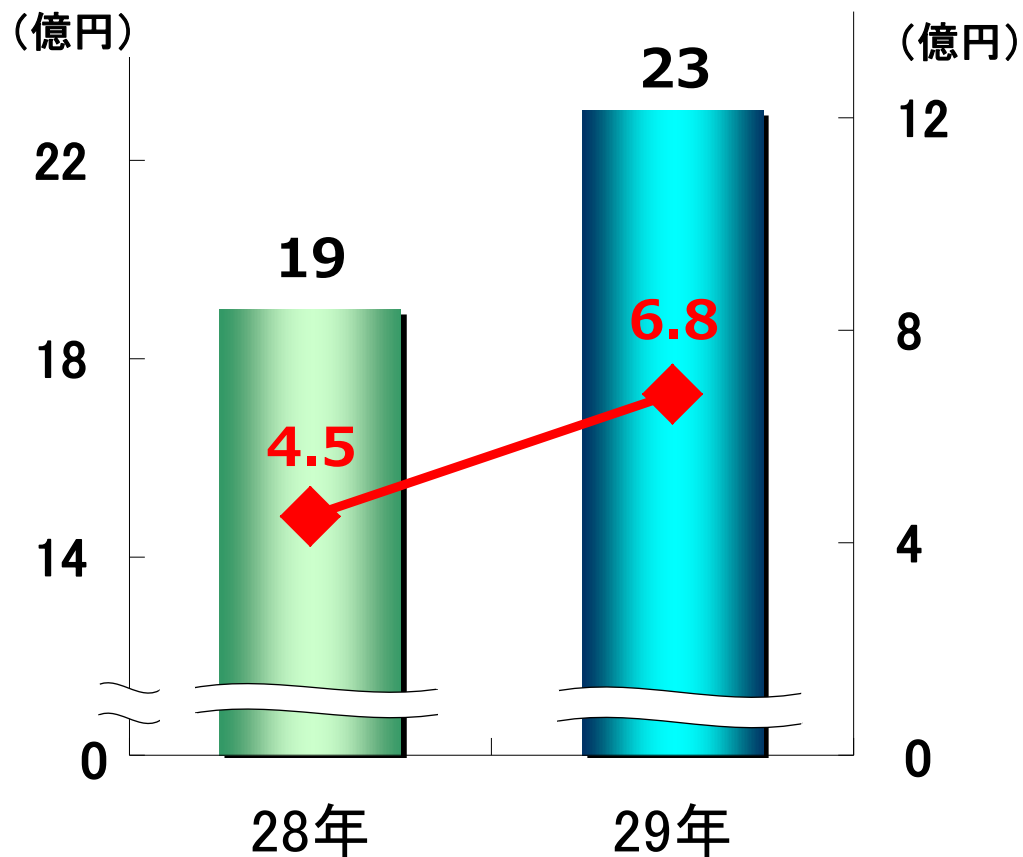
酒類用



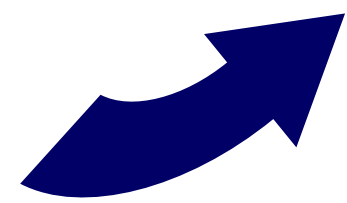
工業用



コーン原価の
低減



輸出ラクターゼ
ディスパーゼ
売上高増加



	H28	H29
有利子負債	71億円	63億円
自己資本比率	36.7%	38.4%
D/Eレシオ	0.39倍	0.34倍
R O E	2.7%	2.9%

健全な財務状況で推移

今後、積極的な設備投資を実施

2. 平成29年度 重点方針

焼酎事業の拡大



- ・北海道ビッグマン 前年比**105%**
- ・博多の華 -35周年- 前年比**102%**

CM、キャンペーン等、プロモーション活動効果

- ・混和焼酎(すごむぎ・すごいも) 前年比**125%**

焼酎事業の拡大



・鍛高譚25周年 第2弾動画公開中！

・『鍛高譚プロジェクト』企画

鍛高譚ブース

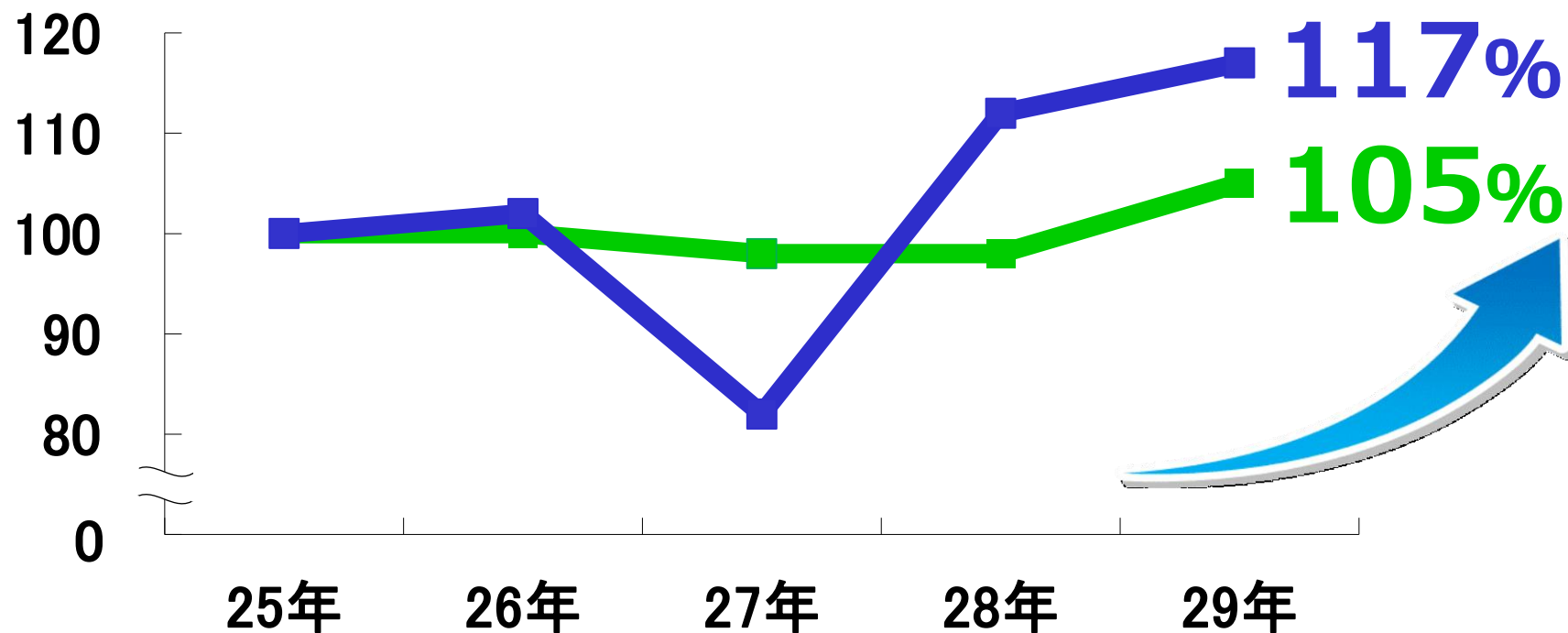
ライジングサン ロックフェスティバル2017へ出店

8/11-12 来場者数:延べ72,000人

アルコール事業 販売の拡大

アルコール上半期販売数量の推移 ■:酒類用 ■:工業用

(H25年=100%)



アルコール事業 販売の拡大

・清水工場 設備投資

最新省エネ技術の蒸留設備

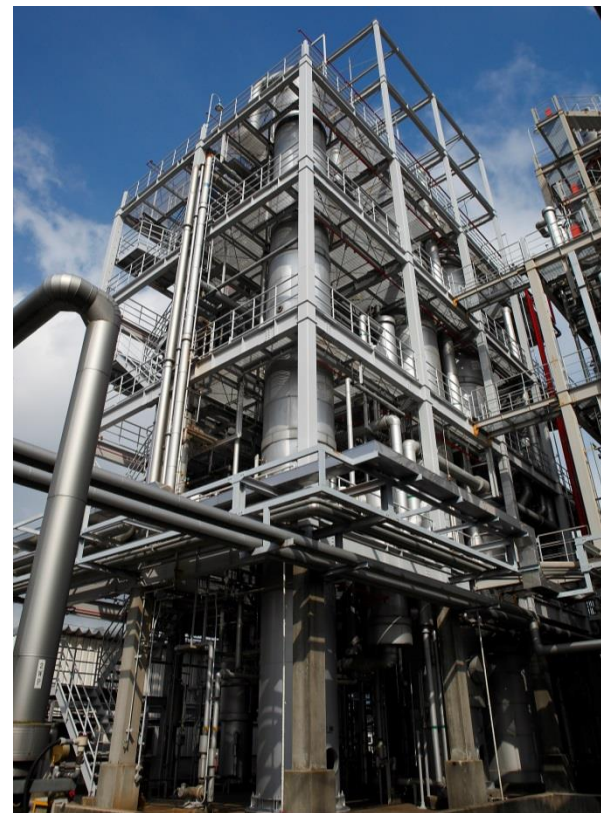
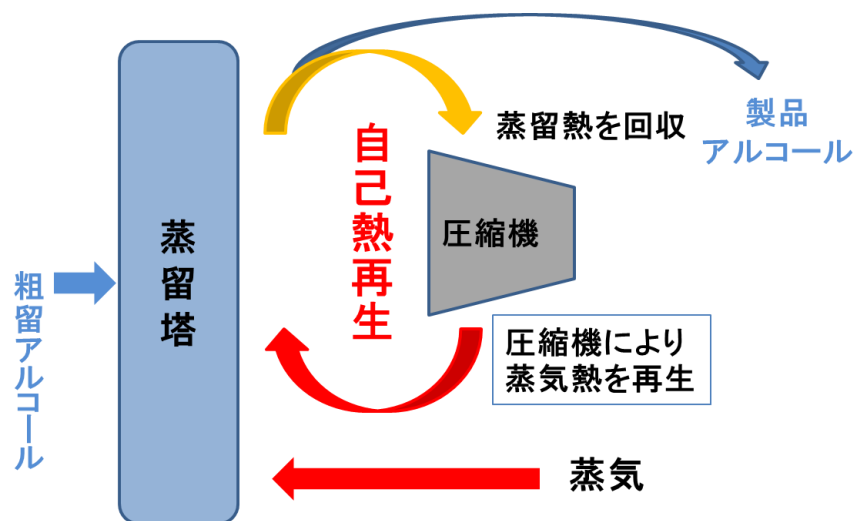
自己熱再生システムにより

蒸気使用量

70%カット

コスト削減 3億円/年

アルコール事業 販売の拡大



蒸留・貯蔵設備 投資額合計

50億円

年間最大**40,000KL**増産
→ 31年稼働予定

酵素医薬品事業の拡大

・ラクターゼ、ディスパーゼ 販売好調！

前年比: **127%** 前年比: **122%**



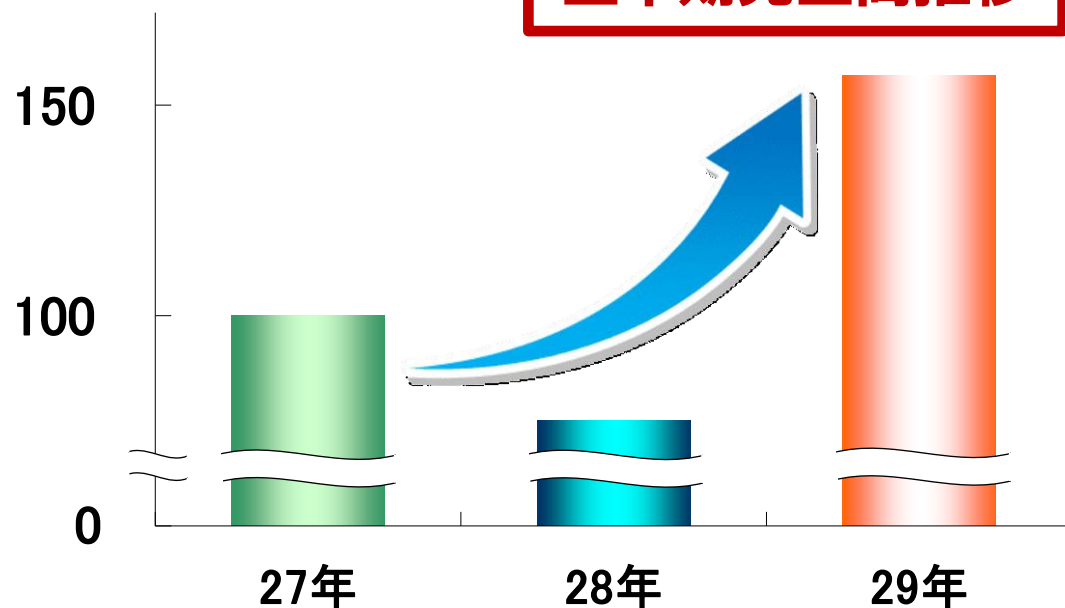
酵素医薬品事業の拡大

- 生産支援ビジネス 好調に推移
大手食品・飲料メーカーからのオーダー受託

酵素製造

菌体回収

(H27年=100)



生産支援ビジネス
上半期売上高推移

酵素医薬品事業の拡大



遠心分離機

- ◆ 精製タンク増設
- ◆ 濃縮装置増設
- ◆ 遠心分離機増設
- ◆ ユーティリティ増強・更新

【 酵素医薬品工場 設備投資 】

29年 7 億円

30年 7 億円

合計 14 億円

スケールメリットを活かした
増産体制・新規受託獲得

CRE戦略

【銀座ビル活用】

H28.10グループ会社の
一部を松戸事務所へ移転
→2階を貸し会議室として
賃貸(H29.9~2年間)



H32年 銀座ビル建替に向け
(仮称)第2本社ビル

購入
(墨田区東駒形)



銀座ビルは
賃貸ビルに
建替の予定

CRE戦略

【旧小樽工場】
合同酒精所有

アイスクリーム製造会社
へ賃貸

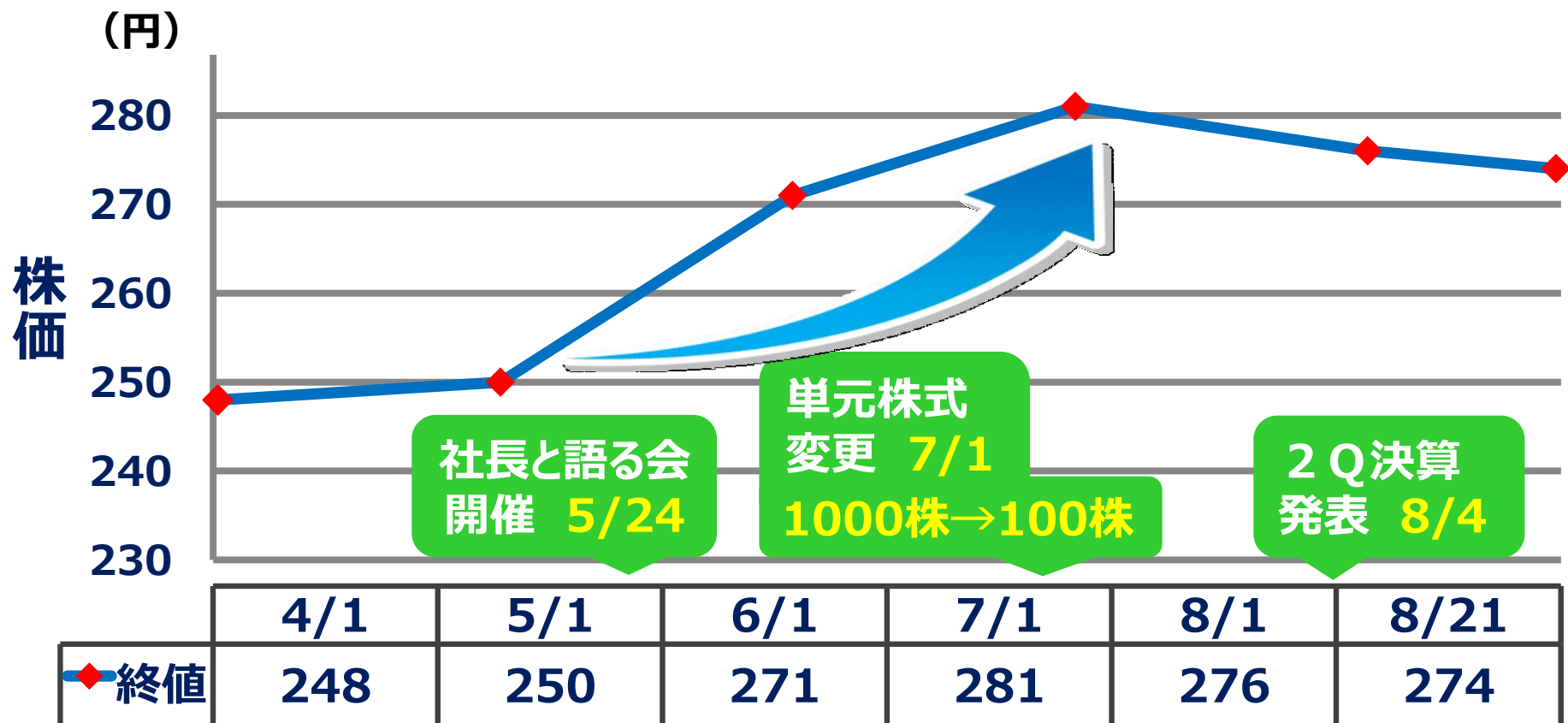


【大島土地】
越の華酒造所有(新潟)

医療施設 へ賃貸



オエノン株価の推移



直近3カ月間で株価が大きく上昇

3. 平成29年度 通期業績見通し

(百万円、%)

	28年	29年	増減	前期比
売上高	79,212	78,000	△1,212	98
営業利益	2,079	2,100	20	101
経常利益	1,882	1,950	67	104
親会社株主に帰属 する当期純利益	610	950	339	156

1株当たりの配当金 7円

28年営業利益 20.8億円
29年営業利益 21.0億円

酒類事業 $\Delta 0.7$ 億円

加工用澱粉事業 $\Delta 2.0$ 億円

3.0億円 酵素医薬品事業

不動産事業等 $\Delta 0.1$ 億円

減益の合計
 $\Delta 2.8$ 億円

増益の合計
+ 3.0億円

0.2億円

利益増減

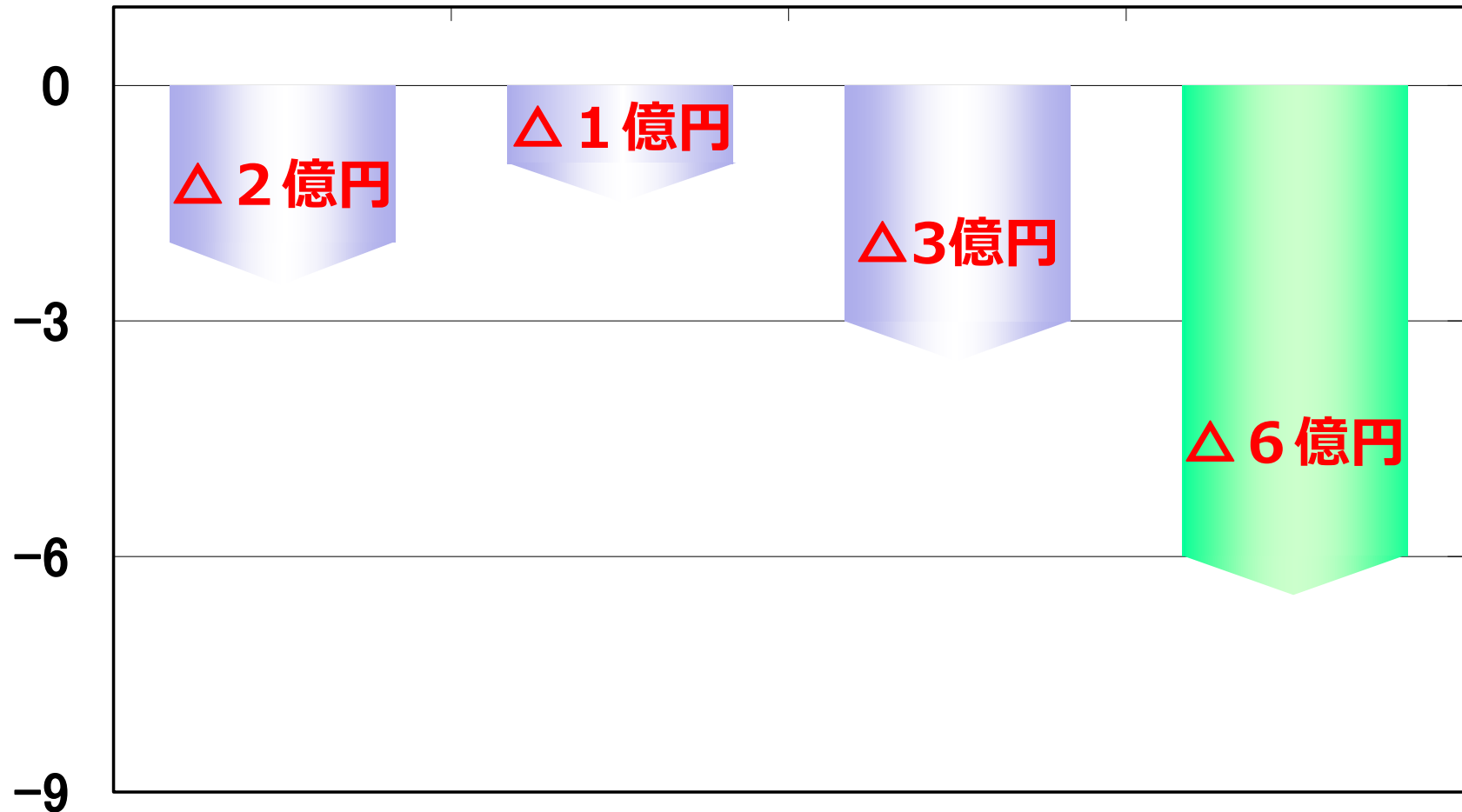
(億円)

粗アル

エネルギー

米

合計



(単位：円)

	28年	29年
ドル	112	115
ユーロ	120	115

(億円)

マイナス要因		プラス要因	
コーン	△ 1	粗留アルコール	+ 1
		ワイン	+ 0
		輸出 (酵素・酒類)	+ 0
計	△ 1	計	+ 1

為替の影響なし

平成29年(2017年)12月期 第2四半期決算説明会

オエノンホールディングス株式会社

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供します。

平成29年8月25日

代表取締役社長 西永裕司

(コード：2533)